



7/2 第1回なぎさ会 3.11 プロジェクト委員会

今年も、なぎさ会 3.11 プロジェクト委員会が発足しました。7名のボランティア参加があり、うれしいことでした。

昨年は、いろいろな行事が中止や変更になり、交流校への義援金を贈ることができませんでした。今年は、岩手県大槌町立吉里吉里学園小学部（併設型小中一貫校）との交流が決まりました。岩手県では、人口減少の影響で、公立学校の小中一貫学校に移行する傾向にあります。

今年、東北大震災から10年目の年。なぎさ公園小学校では、震災の年にPTA なぎさ会で 3.11 プロジェクト委員会を立ち上げ、東北の学校への支援を行ってきました。そして、今年で10年目。委員会の時に「わすれない」と題したコラム（2011年から被災地取材を続けられてきた文科省初等中等教育局教科調査官の小倉勝登氏の書かれたもの）を少しご紹介しました。

私自身、2016年12月に日本私立小学校連合会主催の研修会で宮城、岩手を訪問した際の衝撃は、今も忘れることができません。現地は、震災から5年目、海岸沿いの町は、あったはずの家の基礎の部分を除き、平地には何も無い風景が遠くまで続いていました。案内の青年は、気丈にもボランティアで町のことや自分の体験を語ってくれ、復興への思いをひしひしと感ずることができました。

これまで交流した学校からは、手紙や時に新巻き鮭も届けられ喜んでくださっていることが伝わります。

今年、新型コロナウイルス感染症のため、発足が少し遅れましたが、3.11プロジェクト委員会の皆さんのお力をいただき、なぎさっ子もできることをしていければと思います。何より、「わすれない」ことが最も大切なことではないでしょうか。

オオシロカラカサタケ

駐車場のロータリーにあるクスノキの下に大きな白いキノコが生えてきました。調べてみると、オオシロカラカサタケのようです。食べると中毒を起こします。オオシロカラカサタケは夏～秋、公園の芝生や庭、校庭など、人工的な環境の草地に群生するとのこと。大きなキノコの出現にびっくり！！

7月の生活目標

- ・まわりの人にやさしくしよう
- ・水分補給をこまめにしよう
- ・ふるえる心を発揮しよう

おっとあぶない！！気をつけよう

1年生は、不思議青（生活科）の学習で校内で注意しないといけない危ない場所を調べて注意をうながすポスターを創る学習をしました。これまでの学習では、先生から気をつけることを教えてもらって自分たちで気を付けていましたが、そこは、なぎさっ子。タブレットを使って、校舎内をくまなく調べ、どのようなところが危ないのか判断したり、考えたりして、みんなに知らせるポスターを作りました。校内放送でポスターを作ったことや危ないところに気をつけようと呼びかけました。



おおつちちょうりつきりきりがくえんしょうがくぶ

大槌町立吉里吉里学園小学部

3.11プロジェクトで交流する学校です。

めずらしい「きりきり」という名前は、アイヌ語です。「砂地を歩くときに出る音」から来ているといわれています。吉里吉里海岸では昔は歩くとキュッキュッと音がなっていました。2015年4月1日に開校しました。

全校児童数60名（5クラス）

